



樹光

大村病院広報誌
じゅこう
2018年4月vol.23

「精神科医の専門性」



大村病院
院長
山下 雅也

今年度から「新専門医制度」が始まります。これは、今まで各科ごとに独自に認定していた「専門医」を日本専門医機構という組織が統括し、科によって基準にばらつきが生じないように、国民から信頼される、分かりやすい「専門医」の資格認定制度にしようという趣旨によるものです。精神科においても、新しい制度の下での専門医資格認定になるわけですが、まだまだこれから試行錯誤を重ねながら制度として練り上げられていく、その端緒に着いたところというのが実情ではないかと思えます。

新制度で言う「専門医」の定義は、「それぞれの診療領域における適切な教育を受けて、十分な知識・経験を持ち患者様から信頼される標準的な医療を提供できると共に、先端的な医療を理解し情報を提供できる医師」となっています。どのくらいで「適切な教育」「十分な知識・経験」「標準的な医療」なのか？これはなかなか難しい問いだと思います。

個人的には最低5年くらいは臨床の現場で働き、さまざまな患者様に対し納得できる診療を経験し、患者様、ご家族、同僚、その他医療スタッフから「この人になら任せられる」と認めてもらえるようになれば「一人前」なんだろうと思います。そして何より「精神科医」らしい視点を持っていること。つまり、患者様の診断名や症状だけでなく、その背景やこれまでの人生をも含めてその「人」を診ることが出来ること。これが「精神科の専門医」として重要だと私は思うのですが、いかがでしょうか？

「安全ということ」

交通安全では、「0次安全レベル」「1次安全レベル」「2次安全レベル」というものがあります。「0次安全」は目視、センサーなどにより危険な状況を察知することです。「1次安全」はスピードを下げるなど事故の状況に至らないようにすることです。「2次安全」は事故が発生したときの安全確保です。医療で言うと「0次安全レベル」は公衆衛生による疾病流行の予測(公衆衛生学)、「1次安全レベル」は定期検査、人間ドック、予防接種(予防医学)、「2次安全レベル」は病気に罹患した際の病院、クリニックによる治療(治療医学)でしょうか。

精神医学は、《精神障害に対してどう対応していくか》という治療医学に特化して展開してきた歴史があります。精神障害の原因特定は難しく、そもそも不明であることが多いため予防医学がなかなか発展してこなかった、いや、脳神経が複雑すぎて研究しつつも解明が進まなかったといった方が正解かもしれません。

それまでは閉じ込めるしか対応できていなかった精神障害が、1952年にクロルプロマジンが抗精神薬として初めて使用されてから66年、社会復帰と安全の両立を目標に0次安全レベル、1次安全レベル、2次安全レベル全てから精神医学が発展していくことを願います。

医局長 中島 貴也



医療福祉相談室からこんにちは

医療福祉相談室は、現在7名の精神保健福祉士が所属し各病棟や外来を担当しています。役割は様々ですが、大きく分けると以下のような支援を行っています。

- 1 『退院へ向けた支援』・・・障害福祉サービスや介護サービス等の利用、制度の紹介を行うことで、退院後の生活が送りがやすくなるように調整していきます。
- 2 『療養中の心理的・社会的問題の軽減、調整支援』・・・患者様やご家族からの相談に応じ、医師や看護師、他の専門職の協力を得ながら、問題の軽減、解決をしていきます。
- 3 『経済的問題の解決、調整援助』・・・経済的な問題のある患者様に対し、自立支援医療や障害年金の申請、生活保護など社会保障や福祉サービスを紹介し、経済的問題を軽減していきます。
- 4 『地域との協力、支援』・・・各関係機関や行政との会議や検討会への参加、行政と協力しての支援、障害支援区分の審査会への審査員としての参加など、病院外での活動にも協力していきます。



そのほかにも精神保健福祉法上定められた役割がたくさんあり、多忙ではありますが、皆様のお役に立てるよう相談室一同頑張っていきたいと思っております。

医療福祉相談室 主任 竹内 将史

職員紹介

平成二十九年五月に薬局に入職しました鳥飼浩平と申します。

年齢は、四十一歳、遠回りして今の職業に就いた為に薬剤師歴は八年目です。

神戸の大学で商学部を卒業後、二十八歳まで珈琲屋で働いてました。その後一念発起で医療の世界へ進路変更し、岡山の大学で薬学を学びました。

卒業後は、調剤薬局を経験後、中枢神経の分野で経験をつみたいと思い仁明会病院へ入職いたしました。その頃に当院薬局の山崎主任と兵精協薬剤部会で仕事を一緒にさせていただいておりましたが、この度ご縁をいただき現在に至ります。多様な精神科疾患に対し薬剤師業務を展開していく難しさを感じている毎日です。仕事以外では当院へ入職後すぐに、体育会系の職員の方からロードバイクを始

めないかとのお誘いを受け、早速特注の自転車を購入し始めて半年ですがダイエック目的のものがトレーニンク中心となる程熱中しております。

公私ともに充実した経験をさせていただいております。皆様、ご指導の程宜しくお願いします。

薬局 鳥飼 浩平



【 うつ病について 】

人は、日常生活において、さまざまな気分をもちます。

その中で、「憂うつである」「落ち込んでいる」などと表現されるものを抑うつ気分といいます。抑うつ気分が強い状態に加えて、以下の症状がみられ、さらにその症状が二週間以上持続する場合、うつ病が強く疑われます。

- 1) これまで楽しめていたことに対する、興味や喜びの著しい減退
- 2) 不眠
- 3) 食欲低下
- 4) 思考力や集中力の低下
- 5) 死にたいと繰り返し考えること

うつ病の治療においては、「休養」が一番大切です。しかし、うつ病の患者様は、「休むことで周りに迷惑をかけてしまう」と考えやすく「休養」することが困難な場合も多くあります。うつ病に伴う症状のため、日常生活や社会生活に明らかな支障をきたすようになってくると、薬物療法の適用になります。

薬物療法においては、抗うつ薬を中心として、抗不安薬や睡眠薬が併用され、時には抗精神病薬が使用されることもあります。「自分は価値のない人間だ」「何か重大な病気にかかってしまった」など自責的な妄想が出現したり、死にたいと思う気持ちがコントロールできなくなったりする際には、入院治療を積極的に考慮します。症状の経過によっては、電気けいれん療法を検討することもあります。

うつ病に伴う症状は、統合失調症や認知症など他の病気のまえぶれとして現れることがあります。また病気の背景にアルコール依存症などが潜んでいることもあります。

うつ病は生き生きとした生活をくもらせてしまう病気です。上記のような症状が続き、異変を感じた際には、一人で抱え込まずに早めに受診するようにしましょう。

医師 横山 紘子

大村クッキング

イチゴミルクプリン

材料：（三人前）
イチゴ 2粒
牛乳 200ml
砂糖 大さじ2
片栗 大さじ2
トッピング用イチゴ 適量



作り方

- 1 小鍋にイチゴ2粒を入れてフォークなどでつぶし牛乳・砂糖・片栗を入れて混ぜる。
- 2 中火にかけて、ゆっくり混ぜ、とろみがついてきたらしっかり混ぜる。
- 3 フツフツしてきたら火を止め30秒程度まぜ、器に入れて冷やす。
- 4 固まったら、イチゴをトッピング。（たてにスライスしてヘタ部分を深く切るとハートになります。）

大村病院基本理念

私たちは

- 1 医療を行うに当たり「ヒポクラテスの誓い」を、行動の倫理的基盤とし、常に自らの行為が「誓い」の精神にかなうように努めます。
- 2 慈愛に満ちた良質な医療を提供するために、専門職業人としての能力を研鑽するように努めます。
- 3 患者さま個人の尊厳に重きをおき、人権に配慮された親切で丁寧な対応をするように努めます。
- 4 医療を通して地域社会に貢献し、人々の健康維持、増進に寄与するように努めます。

お出かけスポット 三木山総合公園



総合体育館



遊具エリア

三木山総合公園は、スポーツ・レクリエーションの拠点として野球場をはじめ陸上競技場、屋内プール、テニスコートを備え、平成29年に総合体育館と大型複合遊具エリアを追加し、リニューアルオープンしました。

周辺には、ふれあい、憩いの場として親水広場、展望広場を備えた誰でもが気軽に利用できる総合公園です。

利用可能時間：午前8時30分～午後8時30分まで
休園日：毎週木曜日(木曜日が祝日の場合次の平日が休園日)

樹光第二十三号担当者一同

小高い丘の上に立つ当院では、いろんな野鳥が綺麗な鳴き声で歌っています。その中でもひと際綺麗な歌声を披露する鶯が、桜の花の間から顔を覗かせているのを患者様と指をさして探しながら散歩する良い季節になりました。

●編集後記



医療法人樹光会 大村病院

〒673-0404 兵庫県三木市大村200番地
電話：0794-82-1132 FAX:0794-83-5739
<http://www.ohmura-hp.net/>

関連病院・施設等

デイケアセンターみちしば

〒673-0404 兵庫県三木市大村200番地
電話：0794-82-1132 Fax:0794-83-5739

グループホーム・就労継続支援B型 こもれび

〒673-0404 兵庫県三木市大村1074番地190
電話&Fax：0794-82-2173

グループホーム ひかり

〒673-0404 兵庫県三木市大村1074番地223
電話&Fax：0794-86-0775

あぶい 居宅介護支援事業所

訪問看護ステーション あぶい
訪問介護 あぶい

〒673-0404 兵庫県三木市大村200番地
電話&Fax:0794-83-6624

小野市障がい者地域生活・相談支援センター

〒675-1380 小野市王子町801
福祉総合支援センター内
電話:0794-63-1000

一般財団法人仁明会 仁明会病院

〒662-0001 兵庫県西宮市甲山町53-20
電話:0798-71-3001 Fax:0798-72-6004
<http://www.jinmeikai-hospital.or.jp/>

医療法人財団樹徳会 上ヶ原病院

〒662-0884 兵庫県西宮市上ヶ原十番町1-85
電話:0798-52-2001 Fax:0798-54-5176
<http://www.uegahara.net>

大村病院広報誌 樹光 (じゅこう)

2018年4月1日 発行 Vol.23

発行 医療法人樹光会大村病院

編集・制作 広報委員会

●ご意見・お問合せ

大村病院広報委員会 ohmura@ohmura-hp.net